

各 位

本 社 所 在 地 栃木県足利市南大町4 4 3番地
会 社 名 株式会社 タ ッ ミ
代表者の役職氏名 代表取締役社長 伏 島 利 行
コ ー ド 番 号 7268 東証スタンダード市場
問 合 わ せ 先 業 務 部 長 井 上 彰 悟
T E L (0 2 8 4) 7 1 - 3 1 3 1

2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異
及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ

当社は、2024年5月9日に公表しました2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。また、営業外費用（為替差損）の計上について、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異（2024年4月1日～2024年9月30日）

（単位:百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,350	40	30	20	3.34
今回実績値(B)	3,673	△ 5	△ 40	△ 65	△ 10.90
増減額(B-A)	323	△ 45	△ 70	△ 85	-
増減率	9.6%	-	-	-	-
(参考)前中間期実績(2024年3月期中間連結会計期間)	3,550	△ 6	106	58	9.70

（差異の理由）

当社グループの主要な取引先である自動車業界では、国内において一部メーカーの型式認証不正問題により、国内生産、販売ともに前年を下回りました。また、海外生産は、堅調な北米市場を除いた各地域で前年比減少となっています。

これらの影響を受け、売上高は、国内で減少となったものの、主に北米市場向けのメキシコ子会社の受注増により増収となりました。

利益面で、営業利益は、労務費上昇分の売価反映が100%とはならなかった事やメキシコ子会社にて前期に立ち上げた製品で加工精度の確保が困難な事象が発生し製品廃棄等の損失を計上した事等が影響し、計画を下回りました。また、営業外費用で借入金の金利上昇による支払利息の増加や一時的な円高進行による為替差損の発生も影響し、経常利益以下の各利益とも減益となりました。

なお、通期業績予想につきましては、2024年5月9日に公表した業績予想を据え置いております。今後の業績等を踏まえ、修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 営業外費用（為替差損）の内容

当社は、当第2四半期連結会計期間（2024年7月1日～2024年9月30日）において、為替相場の変動に伴い、営業外費用に為替差損125百万円を計上しました。これは主に、当社が保有する外貨建て資産を期末時点の為替レートで評価替えしたことにより発生したものです。なお、第1四半期連結会計期間（2024年4月1日～2024年6月30日）において124百万円の為替差益を計上しているため、当中間連結会計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）の損益計算書においては、0百万円の為替差損を営業外費用に計上しております。

なお、本件営業外費用（為替差損）の計上による業績への影響につきましては、本日公表の「2025年3月期第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上